グリーン・サステイナブルケミストリー

GSC東京国際会議2003

3月13－15日　東京・早大国際会議場で開催

化学技術革新で環境型社会実現へ貢献

グリーン・サステイナブルケミストリー（略称・GSC）に関する世界初の国際会議「GSC東京国際会議2003」が十三日から三日間にわたり東京・新宿区の早稲田大学国際会議場で開催される。産業界、学会等の実務者、専門家を広く集め講演・議論を通じ国内外にGSC活動の目的を説明、啓蒙活動を行なうとともに社会に対して理解を深めることを最大の目的としている。また、最終日となる十五日には、日米欧から参加した八カ国による「産学官宣言」を採択することになっている。

日米欧中心に産学官が一堂に 18カ国参加で実践討議

GSCは、化学工業に係わるものは自らの社会的責任を自覚し、化学技術の革新を通じて人と環境の健康・安全を目指し、持続可能な社会の実現に貢献することを基本理念としている。米国を中心に行われているGSC（グリーン・ケミストリー）同様、欧州を中心としたSC（サステイナブルケミストリー）と共通する活動である。

経営戦略にも必須のテーマ

わが国では、二〇〇〇年三月に化学系の学会、高分子学会、日本化学会、産業技術総合研究所、化学情報協会、新化学発展協会、日本化学工業協会、化学物質評価研究機構、バイオインダストリー協会、化学技術戦略推進機構、によって設立された「グリーン・サステイナブルケミストリー・ネットワーク（略称・GSCN）」会長・山本一三郎化成社特別顧問が中心となって、産学官の全ライフサイクルを見通した技術革新により「人と環境の健康・安全・省資源・省エネルギー」などを実現する化学技術・「GSC東京国際会議」に定着され、現在は欧米、日本を中心とした取り組みが進められている。

すでにうすうす考え方は世界にはまず中国を はじめとしたアジア諸国へ広がりをみせており、この国際会議はGSC活動の飛躍へ向けた第一歩と位置付けられている。

GSCは、製品設計、製造法、使用方法、リサイクル法などを含めた化学物質の全ライフサイクルを見通した技術革新により「人と環境の健康・安全・省資源・省エネルギー」などを実現する化学技術・「GSC東京国際会議」に定着され、現在は欧米、日本を中心とした取り組みが進められている。

飛躍へ向けた新たな第一歩

すでにうすうす考え方は世界にはまず中国を はじめとしたアジア諸国へ広がりをみせており、この国際会議はGSC活動の飛躍へ向けた第一歩と位置付けられている。

国際会議本番に推進していこうというのが目的だ。

■GSCの意義、定義は？

「GSCN」は「人と環境の健康・安全・省資源・省エネルギー」などを実現する技術を定義している。社会はリスクの少ない「ゼロ」に近い、限定されていくのが自然の摂理だ。化学技術はもとも化学と共生する技術だ。人間が求める技術革新にとって厳しいかは表裏一体の関係。パイオニアをつとめるGSCは、変化をおそれず、変化を作りだしていくことは企業にとってのパイオニアとなる。

GSCは、リスク削減を実現する技術革新だけでなく、この技術が開発されれば当然に産業界が関わっていく。

■技術的には？

GSCの基本理念は持続可能な社会実現に貢献することだ。これを実現するには、技術革新が必要。これを実現するためには、GSCの考え方を広めていくことが重要だ。

第一はプロセス革新、第二は製品の革新である。

第一は、プロセス革新は、従来は廃棄物として大きな損失となっていた。

第二は製品の革新。これは廃棄物を出さず環境に優しい代替品を作ることだ。

第三はシステム開発。ろう、GSCの分かりやすい代表的な例をあげると、リチウムイオン電池だ。

人と環境の健康・安全、環境と資源の保護・安全、などの目的に合致し、しかも「ナカヤ」、携帯電話、パソコンなどのバッテリーに多く採用されている。

大きな企業革命を起こしたい。これが広く浸透するものは、技術開発によって社会に大きな変化をもたらすものがGSCだと考えるとわかりやすいのではないか。

■規制強化については？

強い向きというイメージがあるが、企業としてご推進するメリットは。

「GSCは開発者に新しい世界を提案し、積極的な提案だ。人類が求める技術革新にとって、世界を動かしていくことは企業にとっての使命だ。」

■GSCは国際的に新しい世界を提案し、積極的な提案だ。人類が求める技術革新にとって、世界を動かしていくことは企業にとっての使命だ。

今後、GSCの研究開発、戦略、事業戦略が熱われることになる。

世界連携　ますます重要に

組織委員長代行
JCII戦略運営会議座長
瀬田　重敏　氏

（旭化成特別顧問）

グリーン・サステイナブルケミストリー（GSC）の第二回東京国際会議開催に向け組織委員長代行として指揮をとってきた瀬田重敏JCII戦略運営会議座長（旭化成特別顧問）に聞いた。◇

■GSC国際会議の目的は。

「GSCは人類共通の問題だと考えていくことが世界の大きな流れになっている。化学はもともとグリーンなものだったわけではない。毒物事、悪事をプロセスの開発や製品・省エネルギーに責任に取り組んできた。ただ化学のフィールドだけでは解決出来ないことが出てきた。化学は物質のサイエンスで、物質がある。GSCは、物質を含めた化学物質の、国際連携がますます重要になってきており、化学やる学問が意図的に作ることのできないものも出てきている。自動車の内燃機関でも発生するNOxなどは根絶できない。これを解決するのは政策でこれを解決するのは政策でこれを解決するのは政策でこれ